

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室等は、十分なスペースがあり適切です。
	②	職員配置数は適切であるか	○			指定基準以上の人員配置です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所内は、バリアフリーになっていますが事業所が2階にはあるため、階段を利用してはなりません
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			目標設定と振り返りを大切にし、日々行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者同士の茶話会、親子参加行事を開催しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所の会報及びホームページにて公開しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による評価をしていません
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修と各種研修にも参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			指導計画書更新時（2回/年）保護者との面談の中で、ニーズを聴き取り会議で個別サービス計画を検討、評価し作成しています。また送迎時を利用して聞き取りを行っています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント表を作成し使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動ごと担当者が立案し、全スタッフで話し合いをして計画をたてています
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			機会をつくる事が難しく行えてません。前の公園で、交流することがあります。
	⑬	平日、休日長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援は、課題をきめて支援時間や天候など考えて設定をしています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの体調や状況に配慮して、集団、個別活動を行うように計画しています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援内容や役割分担の確認、事故など起こらないように問題や課題について密に話し合い支援にあたっています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			その日若しくは、翌日に報告や気づきをスタッフ間で情報交換を行い、支援に役立てています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援の記録をとることで、支援が適切に行われていたかを検証し改善につなげています
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、サービス計画の評価をしています
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			基本活動を複数組み合わせ支援しています	

関係機関や保護者との連携	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	指導訓練室等は、十分なスペースが	
	⑩ 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				あり適切です。
	⑪ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				各学校の（年間計画・行事予定・下校時間）などは情報共有、連絡調整は適切に行っています。
	⑫ 医療的ケアが必要な子どもも受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		医療的ケアの必要な子ども利用が現在はありませんが、どの子どもたちも体調面で気を付ける事などは保護者を通じて確認しています。
	⑬ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○	利用者は小学校高学年のため行っていませんが、ぽっぽハウスとの引継ぎはしっかり行っています。
	⑭ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○	利用者は小学生のため、小学校を卒業し福祉サービス事業所への移行はありませんが、他の事業所や施設へ移行するときは、情報提供をしています
	⑮ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修等を受けているか	○				北見市特別支援教育連携協議会の相談員より助言を受けています。各種研修にも参加しています。
	⑯ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	機会をつくる事が難しく行えてません。前の公園で、交流することがあります。
	⑰ （地域自立支援）協議会等への積極的に参加しているか				○	協議会が行われていません
	⑱ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				避難訓練は、年2回実施しています。火災訓練のときは、管轄の消防署の指導のもと行っています
⑲ 保護者の対応の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	必要に応じて、個別に面談を行うことはありますが、ペアトレーニングは行っていません	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	指導訓練室等は、十分なスペースが
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			あり適切です。
	③⑪ 保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個人面談時にお話しをしています。送迎時の会話や連絡帳での記載などで気になる事がありましたら、個別に電話や面談などでその都度対応をしています
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同志の連携を支援しているか	○			保護者同士の茶話会、親子参加行事を開催しています。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			外部苦情窓口設置しています。苦情があった場合は、苦情解決責任者により迅速に適切に対応をしています
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			利用者は小学生のため、小学校を卒業し福祉サービス事業所への移行はありませんが、他の事業所や施設へ移行するときは、情報提供をしています
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	○			契約時に、個人情報について説明し取り扱いに十分注意をしています
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の疎通や情報伝達が難しいときは、配慮し個別に対応をしています
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		毎年行われている法人のおまつりも、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小したため、地域交流できませんでした。
非常時等の対応	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			非常災害対応マニュアルを策定し、事業所に掲示しています。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は、年2回実施しています。火災訓練のときは、管轄の消防署の指導のもと行っています
	④① 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、委員が中心となり毎月のスタッフ会議のときに話し合いをしています
	④② どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			法人内に「身体拘束等の適正検討委員会」を設置し、協議しています。問題行動についての対応は、保護者に説明し放課後等デイサービス計画に記載しています
	④③ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者と相談の上、個別に対応となっています
	④④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、会議で話し合い共有しています